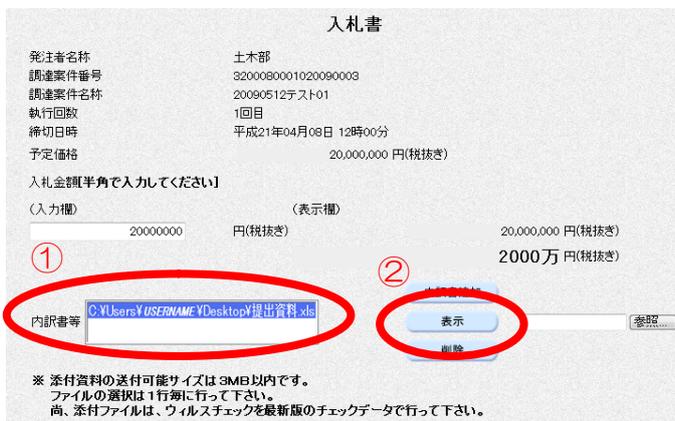


応札者側の申請書等の提出時に添付ファイル表示ボタン が効かない場合がある

平成21年5月1日

Windows XP SP2、SP3、Windows Vista（以降「Windows XP SP2以降」と表現する）をインストールしたPC環境における電子入札システムの制限事項および運用上の回避策について示します。

Windows XP SP2 以降のOS使用時の制限事項



該当画面

(例) 競争参加資格確認申請書
入札書

- ① 内訳書等の該当ファイルをクリックして反転させる。
- ② 表示ボタンをクリックする。

①、②を実施しても表示されない。

(説明)

申請書等を応札者が提出する際、表示ボタンを押下することで添付したファイルを確認する機能があります。この機能は、提出前の添付ファイルを事前に再確認するための重要な機能となります。

Windows 2000、Windows XP SP1 の場合には、信頼済みサイトにURLを登録していれば正常に表示することができます。XP SP2 以降では、エラーダイアログや画面左下に「ページでエラーが発生しました」等が表示されることがあります。

1) エラーダイアログが表示される場合

スクリプトエラーに関する設定を変更（「エラー表示する」に設定）した場合には表示されます。



2) 画面左下に「ページでエラーが発生しました」と表示される場合

標準設定では左下にエラーと表示されるため、無応答のように見えることとなります。



なお、添付ファイルを表示する際、上記エラーとなっても、その後の提出処理自体は正常に行われます。

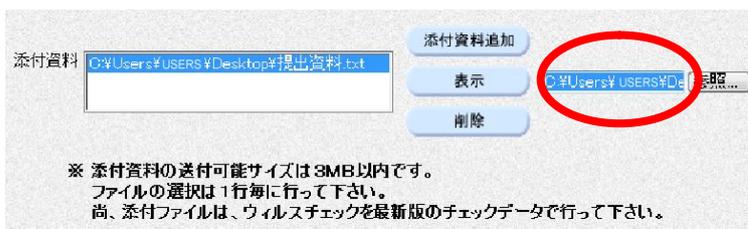
運用上の回避策

添付ファイルの中身を表示させたい場合は、以下の手順で確認を行います。

1. 該当画面を表示します。

2. パスを選択します。

下図の赤囲み部分に書かれているファイルのパス（場所）を選択して青く反転させます。



選択して青く反転させる方法

例) 添付ファイルがデスクトップ上にあり、ファイル名が「提出資料.xls」の場合
以下の赤い文字の部分を選択します。

・ Windows XP の場合

C:\Documents and Settings\ユーザー名\Desktop\提出資料.xls

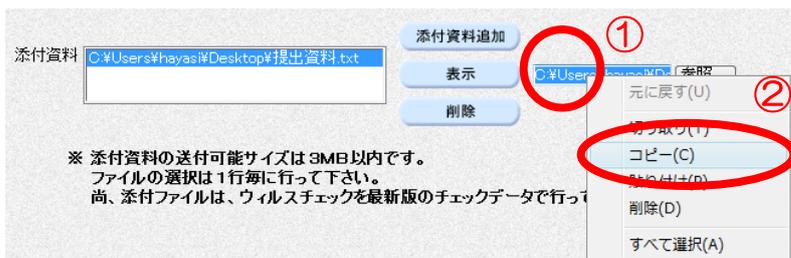
・ Windows Vista の場合

C:\Users\ユーザー名\Desktop\提出資料.xls

3. 選択したパスをコピーします。

① 選択している状態で右クリックします。

② コピー (C) をクリックします。



4. エクスプローラを起動して、パスを貼り付けて該当ファイルを表示させます。

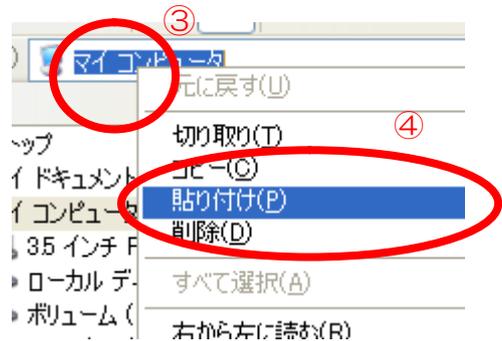
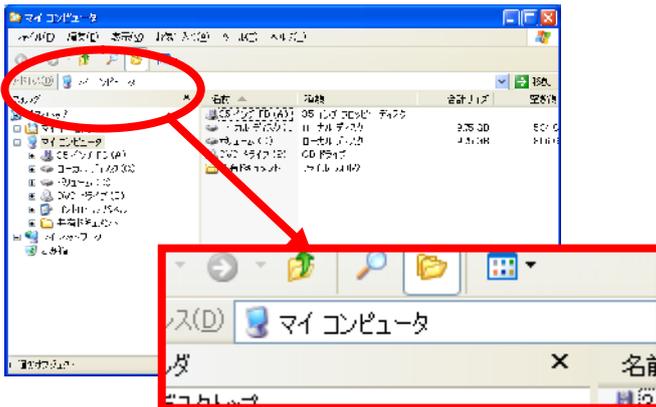
エクスプローラの起動 (XP、Vista 共通操作)

- ① スタートボタンで右クリックします。
- ② エクスプローラ (X) をクリックします。



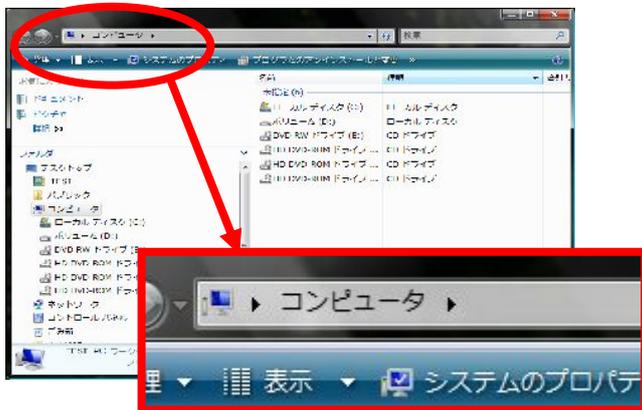
1) XP の場合

- ③ アドレス欄で右クリックします。
- ④ 貼り付け (P) をクリック後、貼り付けた状態で Enter キーを押下します。

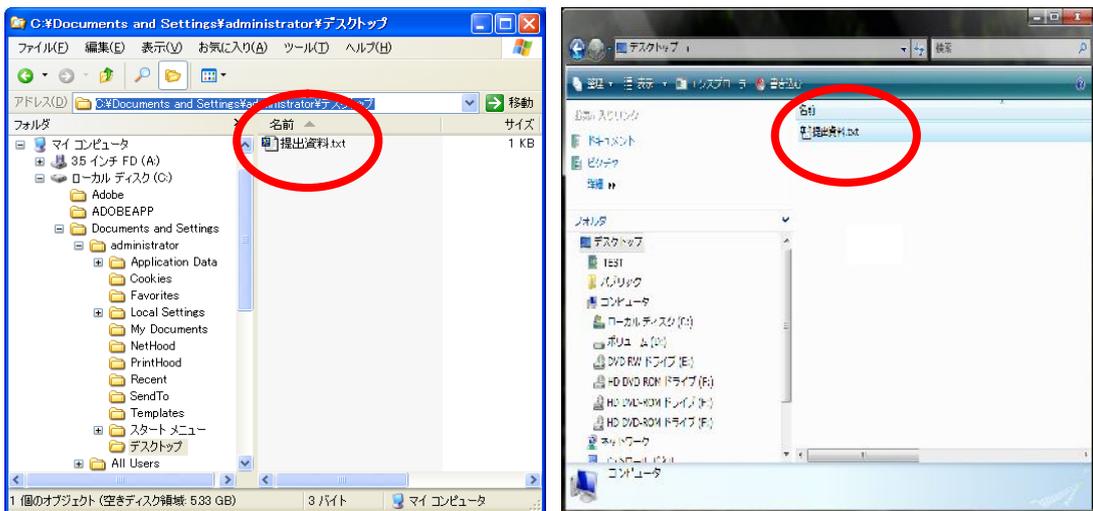


2) VISTA の場合

- ⑤ アドレス欄をクリックして選択します。
- ⑥ 右クリックします。
- ⑦ 貼り付け (P) をクリック後、貼り付けた状態で Enter キーを押下します。



5. 添付したファイルが表示されますので、ダブルクリックして表示します。



補足) エクスプローラでアドレス欄が表示されていない場合の表示方法

Windows XP の場合、アドレス欄が表示されていない場合があります。次の手順でアドレス欄を表示することが出来ます。

- ① アイコンの右側の空欄 (左赤丸) の辺りで右クリックします。
- ② アドレスバー (A) をクリックします。

